



Minerva AL Three Position Cabriolet Van den Plas (ベルギー, 1930)

過去のブランド

scale 1/43

#02030

available

05/2023

limited edition 333 Stck.



ベルギーの気品

オランダ生まれの29歳、シルヴィアン・デ・ヨングが1897年にミネルバという自転車工場を設立したとき、それが精巧な自動車の製造工場になるとは誰も予想していなかった。二輪車に加え、小型自動車の生産ももなく開始された。生産された車はさまざまなレースを戦い、1907年の「アドレンヌレース」での3連覇をきっかけに、会社は高品質の自動車生産に専念することになり、バイクや自転車の生産はやめることになったのは当然の成り行きだった。

1920年代半ばまでは4気筒エンジンが使われていたが、その後6気筒エンジンが採用され、まずタイプABに搭載された。その後、さらに豪華なデザインが続き、いずれもお金持ちの流行の好みに沿ったものだった。次の段階として、8気筒エンジンの設計が行われた。この新しいエンジンを搭載したタイプALは、1929年のパリモーターショーで一般公開された。

125馬力のこの高級車は、外装も内装も非常に高級感があった。ホイールベースが152インチ(約3m86cm)あるシャシーだったため、ほとんどの車体はベルギーのコーチビルダー「D'Ieteren」によって製造された。シャシーに合わせて、ブリュッセルのマレ通り50番地にある工場が「カロッセリー・ド・グランリュクス」と名付けたボディを提供した。当初は、運転手と分離された複数人乗りの運転台がデザインされていた。さらに、ブリュッセル工場では、コンバーチブルとクローズドバージョンがラインナップしていた。

ミネルバ ALは、その見事な仕上げと良くできた外観にもかかわらず、その需要は限られていた。ミネルバが受注したのは、わずか50台だった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de